

JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

最終回「JAグループの代表議員がなぜ必要なのか」について

JAグループの声を!

JAグループの農政運動の目的は、「農政(農業・農村・農協政策)」にJAグループの声を反映させて、生産現場の課題解決を図ることです。そのため、農政を決定する政府・与党の中に、農業・地域・JAグループへの理解者を増やすことが農政活動の強化につながります。

組織力の結集を!

JAグループの様々な事業に対し措置されてきた予算・税制等の政策支援は、これまでの農政運動を通じて確保してきたものです。これらの政策支援を維持・発展させるためには、JAグループが団結して農政運動を行うことが必要です。組合員や役員一人一人の力は小さいですが、組織としてまとまることで“力”となります。

農政活動の強化に向けて!

国民への食料の安定供給、環境との調和、組合員の所得増大、農業・農村の持続的発展等に向けた生産現場の課題解決のために、今こそ我々JAグループの組織力の発揮が必要なのです。



【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、全8回連載いたしました。

働きかけと支援を!

農業の実情を知る議員がいることによって、政府・与党内に農業現場の実情を伝えることが可能となります。そのため、JAグループの声を代弁し、政府・与党に積極的な働きかけを行う議員に対して、組織でまとも、活動を支え、連携することが、政策実現のカギとなります。

我々の代表を!

国会(政治)は数が力です。国を動かすには、国会に一人でも多くの農業やJAの理解者を増やすことが重要です。そのために、我々JAグループの代弁者として、先頭に立って多くの国会議員に働きかけ、農業やJAの理解者を増やし、まとめていくことができる議員、つまり、JAグループの代表議員が必要なのです。

東野ひでき公式
LINEアカウントへの
登録はこちらから



東野ひでき北海道後援会

出資金の増口をご検討ください

日頃より、JAの事業をご利用いただき、誠にありがとうございます。

近年、正組合員の脱退に伴い、JAたきかわ全体の出資金残高が急激に減少しております。出資金は、組合員の願いを形にするために、組合員一人ひとりが持ち寄る資金です。事業を運営するための基礎となり、JAの様々な事業は、この出資金を元手として展開しています。

JAの将来の事業活動資金として、組合員の皆様に出資金の増口をご検討いただきたく、お願い申し上げます。詳しいお問い合わせは、本店(0125-22-3401)総務課 中村他、各支店の出資金担当者までご連絡ください。

	出資口数(正組合員)	正組合員の出資金残高
令和2年度末	634,578口	1,269,156,000円
令和3年度末	614,232口	1,228,464,000円
令和4年度末	604,585口	1,208,464,000円
令和5年度末	585,326口	1,170,652,000円
令和6年度末	554,729口	1,109,458,000円